

# 衆議院海賊行為への対処並びに国際テロリズムの防止及び 我が国の協力支援活動等に関する特別委員会ニュース

平成 21.4.23 第 171 回国会第 7 号

4 月 23 日（木）第 7 回の委員会が開かれました。

- 1 海賊行為の処罰及び海賊行為への対処に関する法律案（内閣提出第 61 号）
- ・麻生内閣総理大臣、中曽根外務大臣、金子国土交通大臣、浜田防衛大臣、柴山外務大臣政務官、宮崎内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・鉢呂吉雄君外 2 名（民主）提出の修正案について、提出者武正公一君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
  - ・原案及び修正案に対し、石井啓一君（公明 自民及び公明を代表）、川内博史君（民主）、赤嶺政賢君（共産）及び阿部知子君（社民）が討論を行いました。
  - ・修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
（賛成 民主、国民 反対 自民、公明、共産、社民）
  - ・原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決すべきものと決しました。  
（賛成 自民、公明 反対 民主、共産、社民、国民）

（質疑者及び主な質疑内容）

## 中 谷 元君（自民）

- ・現在行っている海上警備行動によるこれまでの成果及び海賊の現状並びにソマリア海賊が急増してきた原因及びその背景について、浜田防衛大臣、中曽根外務大臣にそれぞれ伺いたい。
- ・国際の安全保障を日本はどう守り、シーレーンをどう確保するのか。また、世界 6 番目の広大な管轄海域を持つ海洋国家日本として歩むべき道・ビジョンについて、麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・政府全体の組織・人材を有効に総合的に活用するという本法律案の運用の仕方に関する麻生内閣総理大臣の所見を伺いたい。

## 新 藤 義 孝君（自民）

- ・海賊行為とその処罰について定め、他国の船舶も守れるようにし、停船のための武器使用を定めた本法律制定の意義と効果について確認したい。
- ・海賊対処本部の創設や自衛隊員の海上保安庁職員との併任を野党が求めていることを踏まえた本法律案における海上保安庁と自衛隊との関係について麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・国家ビジョンの柱の一つとして平和構築国家を目指すべきだと考えるが、日本の新しいソフトパワーの展開について麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。

## 冬 柴 鐵 三君（公明）

- ・世界第 6 位の広大な管轄海域を持ちながら、海上自衛隊と比較して少ない定員、予算、装備で、多数の立入検査・海難救助等に対応している海上保安庁の現状を考えるとソマリア沖海賊への同庁による対処が不可能であると考え、金子国土交通大臣の考えを伺いたい。
- ・しきしま級の巡視船を 2 隻遠洋に派遣するとした場合、それに対応するための巡視船の建造費と要員の見積について伺いたい。
- ・将来的には、巡視船を増加して遠洋へ派遣することも必要であると思われるが、麻生内閣総理大臣及び金子国土交通大臣の考えを伺いたい。

## 平 岡 秀 夫君（民主）

- ・今回の海賊対処は、最初から自衛隊派遣ありきの感があるが、麻生内閣総理大臣が浜田防衛大臣に昨年の 12 月 26 日にソマリア海賊に対する自衛隊の対処の可能性の検討を指示した際又はそれ以前に、海賊対策について第一義的任務を負っている海上保安庁を所管する金子国土交通大臣にも同様の指示を出したのか。
- ・武力抗争に巻き込まれるおそれのある自衛隊の海外派遣について、国会のシビリアンコントロールを徹底する見地から、本法律案に国会承認を規定する考えはないのか麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛隊法制定に当たっての参議院決議（1954.6.2）「自衛隊の海外出動を為さざることに係る決議」に対する政

府の発言では、自衛隊は海外派遣などというような目的をもっていないとしているが、宮澤元総理が有権解釈は参議院にあると認めていることから、今回の自衛隊派遣について麻生内閣総理大臣が参議院に有権解釈を求めたら如何か。

### 長 島 昭 久君(民主)

- ・谷内政府代表が行ったとされる北方領土の3.5島返還容認発言に対する麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・海賊対処行動には国会承認を必要とするための法律案の修正に、柔軟に対応することについて麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・本法律案では、海賊容疑船に対して武器の使用を行った後に海賊船でなかったことが判明したとしても、さかのぼって当該武器使用が違法となることはないということを麻生内閣総理大臣に明言していただきたい。

### 赤 嶺 政 賢君(共産)

- ・ソマリア沖の海賊の背景及び原因は、ソマリア沖における違法操業、有害物質の不法投棄等を漁民が取り締まったことから始まり、それが海賊ビジネス化したとの見方に対する中曽根外務大臣の認識を伺いたい。
- ・ソマリア暫定連邦政府のアハメド大統領は、1億6,500万ドルの資金があれば当面の海賊対策は実施できるとして国際社会に支援を求めているが、このようなソマリア自身による努力を我が国が支援することに対する中曽根

外務大臣の見解を伺いたい。

- ・ソマリア沖・アデン湾に派遣される護衛艦及び哨戒機が収集する情報は、各国の軍隊に提供、共有されることとなるのか浜田防衛大臣に伺いたい。

### 菅 野 哲 雄君(社民)

- ・ソマリア沖・アデン湾における海賊対策は、海上自衛隊の派遣という議論が先行したために、海上保安庁の派遣についての議論が不十分であったのではないかと、政府の見解を伺いたい。
- ・海上における警察活動は海上保安庁の本来任務であることについて、改めて麻生内閣総理大臣の認識を伺いたい。
- ・イエメン、オマーン及びジブチなどの周辺国の海上法執行能力強化のために我が国が果たすべき役割について中曽根外務大臣の見解を伺いたい。

### 下 地 幹 郎君(国民)

- ・沖縄県における不発弾爆発事故(1月14日)により深刻な傷害を負っている被害者を早急に救済する必要があることに対する麻生総理大臣の認識を伺いたい。
- ・海上自衛隊の護衛艦と海上保安庁の巡視船「しきしま」が共同で海賊に対処することに関する麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・海上保安庁の船艇整備計画を前倒しして、「しきしま」級巡視船を建造することに対する金子国土交通大臣の見解を伺いたい。